



たじみ監督署 安全衛生だより

平成23年の労働災害発生状況

平成23年の休業4日以上労働災害による死傷者数は、12月末現在の速報値で241人となっており、昨年同期に比べ31人の減少をみっていますが、残念ながら死亡災害により2人の尊い命が失われています。

主な業種別にみると、特に運送業について前年同時期に比べ42.9%の大幅な増加を示しており、これらの災害は荷主等の事業場内で発生したのも多く、今後、運送業者の自主的な安全活動の活性化と、荷主等の皆様への構内における荷役作業の災害防止対策への協力をお願いすることとしています。また、機械金属関連の製造業においても増加しており、機械等へのはさまれ・巻き込まれ災害が約3割を占め、その中には切断等の重大な災害も少なからず発生しています。

このような状態の中、平成24年は第11次労働災害防止計画の最終年であり、改めて「安全最優先」の考え方を基本に、経営トップの強いリーダーシップのもと、労働災害防止活動の活性化を図りましょう。

(参考) 全国の労働災害発生件数

	平成23年	平成22年	増減数	増減率
死者数(注1)	845人	982人	137人減少	14.0%減少
死傷者数(注2)	66,594人	65,257人	1,337人増加	2.0%増加

注1：死亡災害報告による11月末の速報値

注2：労災保険給付データ及び労働者死傷病報告(労災非適)による10月末の速報値

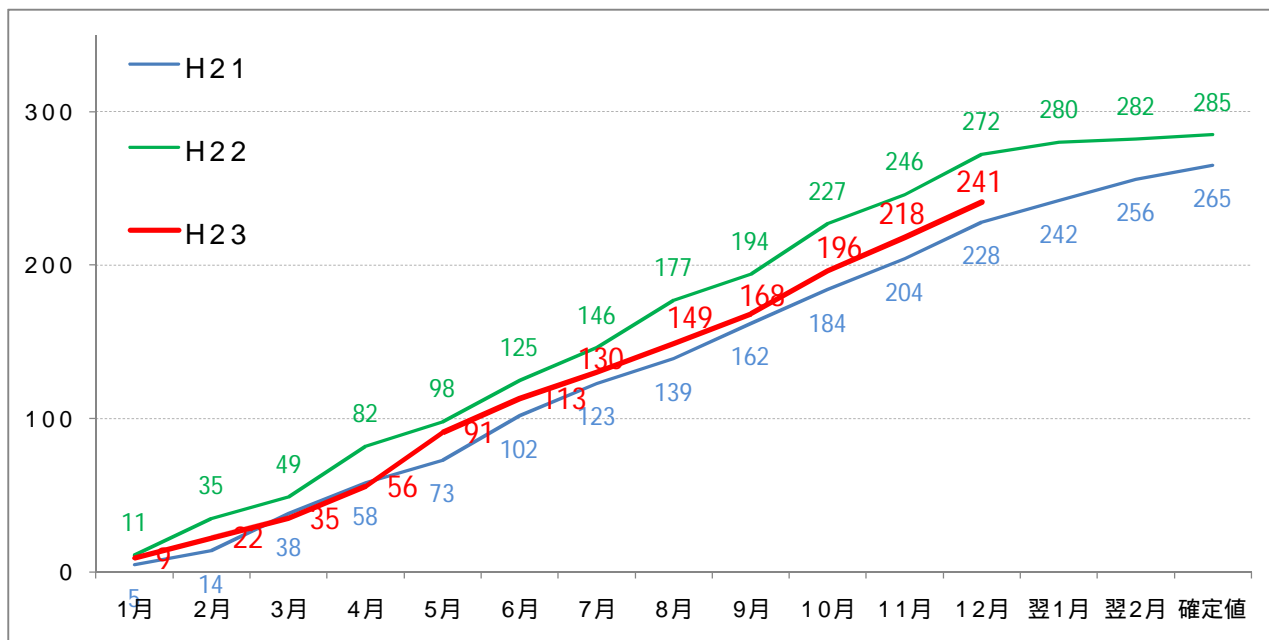
注3：震災関連除く。

	平成23年	平成22年	対前年 増減数	対前年 増減率	構成比	(参考) 平成21年
全産業	241 (2)	272 (6)	-31	-11.4%	100%	228 (3)
製造業	91 (1)	90 (2)	1	1.1%	37.8%	78 (1)
うちパルプ・紙等	3	7 (1)	-4	-57.1%	1.2%	8
うち窯業土石	30 (1)	35	-5	-14.3%	12.4%	34 (1)
うち機械金属	30	21 (1)	9	42.9%	12.4%	19
建設業	18 (1)	40 (3)	-22	-55.0%	7.5%	24
運輸業	30	21	9	42.9%	12.4%	26 (1)
卸・小売業	20	26	-6	-23.1%	8.3%	34
通信業	11	15 (1)	-4	-26.7%	4.6%	4
ゴルフ場	20	25	-5	-20.0%	8.3%	23 (1)
上記以外	51	55	-4	-7.3%	21.2%	39

本統計は、平成23年12月末日までに労働者死傷病報告により報告のあった休業4日以上死傷災害を集計したもので、かっこ内の数は死亡災害を内数で示したものです。

構成比は小数第2位を四捨五入しているため、各業種の合計が100%にならない場合があります。

災害発生状況の月別推移



リスクアセスメント実施支援システムを活用しましょう

実施支援システムとは、

利用者がパソコン上で各項目を選択しながら、それぞれの作業・業種で想定される典型的な「危険性又は有害性と発生のおそれのある災害」のリスクの見積りが実施できます。

また、事業場に合わせて任意に項目を記載することもでき、リスクの見積りの実施終了後に利用者のパソコンにエクセルファイルでダウンロード可能なものとなっています。

「職場のあんぜんサイト」(http://anzeninfo.mhlw.go.jp/risk/risk_index.html) にアクセスしてみましょう。

職場のあんぜんサイト

検索

(支援メニューです。製造業等15作業、建設業11作業、汎用版が準備されています。)